



冬の合宿研究会のまとめ

佐藤 学

学びの共同体が授業を変える

授業改革の進展 = <聴き合う関係> <ジャンプのある学び> <真正の学び>
この三位一体が、日本の授業を変える。

「学びの共同体の授業は、どんな授業ですか？」への回答は「コの字型の教室と男女混合4人グループの協同的学び」ではない。<聴き合う関係> <ジャンプのある学び> <真正の学び>の三位一体の追求が、学びの共同体の授業である。

「質の高い学び」も、この三位一体の質の高さにある。

これからの授業改革は、実践事例を豊富にすること。「モデル」の創造ではなく、「多様な典型とヴァリエーション」の創造を追求しよう。

今回の成果 = 真正の学び

今回の成果の第一は、〈真正の学び〉を実現する鍵が〈対象性の回復〉にあることを明らかにし、実践的に検証したこと。

〈真正の学び〉における活動が、対象の中に潜在的に埋め込まれていることを明らかにし、実践的に検証したこと。

〈真正の学び〉を追求することによって、〈ジャンプのある学び〉をデザインし、学びを喪失した〈話し合い〉の協力ではなく、学びを実現する〈聴き合い〉による協同を実践することを明確化したこと。

学びの共同体の国際プラットフォーム フォーラムと国際会議について

International Platform for School as Learning Community (Website)

上記のウェブサイトをご覧ください。

The First International Conference of School as Learning Community

3月8日から10日, 2014年 学習院大学

3月8日は公開シンポジウムは、同時通訳付きです。中国、韓国、台湾、シンガポール、インドネシア、ベトナム、日本における学びの共同体の授業改革と学校改革の実践と研究が交流されます。基調講演は、東京大学の秋田喜代美先生です。

申し込みは、上記のウェブサイトを開き、application で申し込みください。申し込み期限は、2月15日です。

夏の合宿研究会のお知らせ

夏の合宿研究会は、7月26日（土）と7月27日（日）の二日間、大阪の不死王閣で行います。

これから半年間、日本各地、津々浦々に無数の「学びの共和国」を建設して、また、大阪の地で集いましょう。